

特集:中国の地域発展における課題

ERINA 調査研究部研究主任

李春霞

今号の特集では、中国の東北・華北地域が直面する課題を検討する。中国は面積が広く、各地域において産業構造や発展段階が異なっている。そのなかで、中国東北地域はかつて重要な工業地域であったが、改革開放以降、国内総生産（GDP）に占める割合が小さくなり、その重要性も低下した。この状況を打開するために、中国政府は2007年に東北地域を対象に「東北地区振興計画」を公布し、旧工業地帯の振興、資源枯渇型都市の産業構造転換、イノベーション能力の強化などを目指している。他方、東北地域は中国において重要な農産物生産地である。2003年より、東北三省（遼寧省・吉林省・黒龍江省）の第1次産業の割合は全国平均の割合を上回り、2018年には11%になった。2020年、東アジア地域包括的経済連携（RCEP）協定が正式に署名されたことにより、東北地域の農産物輸出にとってはチャンスであると同時にチャレンジも伴う。ただし、貿易の発展のためには、北方地域の港湾の振興が必要不可欠である。特集では、こうした課題に関連する3本の論文を掲載する。

まず、張佳書・北京航空航天大学人文

社会科学学院副教授による「RCEPの枠組みにおける東北三省の農業保険制度の限界と改革」である。RCEP加盟国は人口規模、経済規模と貿易規模が世界の3分の1前後を占めているので、世界最大の自由貿易圏の誕生といわれる。張論文はその新しい状況のなかで、東北三省の農産物貿易の発展を促すために、農業貿易と農業保険制度の現状を整理して、保険の問題点を指摘し、合理的な制度改革の道筋を示している。東北三省の農産物資源と種類は豊富で、農産物加工業と食品製造業は近年よく発展しており、東北地域は中国の重要な食糧倉庫である。近年「一帯一路」が推進されるなか、東北三省にとって日本と韓国が農産物の主要な輸出市場になり、農産物貿易の規模が持続的に拡大している。こうした発展を支え、農民の農業生産リスクを低減するために、健全な農業保険制度を確立する必要がある。

次に、拙稿「中国のイノベーションの地域間格差」である。中国の東北地域は中国の工業発展において重要な役割を果たしていたが、近年経済成長率は他の地域より低下している。2012年を境に、中国

のGDP成長率は7.9%からさらに低下し続けているため、イノベーションによる成長への転換は経済成長を維持するための喫緊の課題としてますます重要である。拙稿の基本的な問いは中国東北地域の経済成長の鈍化はイノベーション力と関係があるのか、というものである。拙稿は中国の省レベルのデータと企業レベルの個票データを用い、東北地域のイノベーションの投入や産出を他地域と比較し、地域間でイノベーション格差があるかどうかを検証している。

最後に、朱永浩・福島大学経済経営学類教授と劉旭彬・福島大学大学院経済学研究科修士課程による「中国山東半島における主要港湾の現状と今後の可能性」である。山東半島は中国最大の半島であり、山東半島の港湾は中国の北方地域の貿易に重要な役割を果たしている。朱・劉論文は中国の港湾管理体制の転換や山東半島の主要な4港湾の概要と特徴を考察した上で、港湾競争力を向上させるための課題を分析している。

本特集が読者の中国東北・華北地域に対する理解の深化に少しでもお役に立てば幸いです。